

# ロードマップの進捗状況について

---

発注者内で事業実施計画が共有され、事業関係者が共通のプラットフォームに保管された事業実施に必要なデータに容易にアクセスできるようにするための実施項目

BIM/CIM検討項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降	検討状況
データ管理手法の標準化		発注者のデータ管理の現状分析			「R5原則適用」の 具体内容とあわせて 検討
		プロジェクトのデータ管理手法の標準案の策定 (プラットフォームへのアクセス権、更新ルール等を含む)			
			データ管理を効率化するための納品方法の改定		
管理データを元にした、円滑な事業実施のためのBIM/CIM活用方法	事業監理のための統合モデル活用方法の検討				モデル事務所にて 取組中 本省業務にて検討 中
		プロジェクト内でのBIM/CIM活用方法の検討 (BIM/CIM活用ガイドライン(案)の改定)		適宜改定	
		ISO19650の調査 (海外事例)			
データ管理のためのシステム間の連携	各システムの整備、更新 (電子納品保管管理システム、国総研DXデータセンター、ICTプラットフォーム)				DXデータセンター で試行中 別資料で報告
		プロジェクトにおける各システムの活用の流れの 整理			
データ管理を行うプラットフォームの構築	国総研DXデータセンターの構築	国総研DXデータセンターを活用した試行		プラットフォームの適宜 見直し	

施工上のリスクと対応状況が可視化され、後工程において必要な対応を手戻りなく実施でき、発注者が積算業務を効率的に実施できるようにするための実施項目

BIM/CIM検討項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降	検討状況
発注図書の精度向上	当面の詳細設計における3D納品仕様の精査 (3次元モデル成果物作成要領(案)の改定)	現場不一致等に起因する変更協議箇所の分析	各基準要領を適宜改定		国総研、本省の業務にて検討中
	設計で活用可能な測量3D仕様の検討				
リスク情報の継承手法	4Dによる設計から施工への設計意図伝達手法	施工時のトラブルになりやすい箇所の分析 (データ管理、発注図書の精度、発注方法 (工区割等)等の原因別)	原因別に各リスク情報への 対応及び伝達方法を整理		本省の業務にて検討中
	地質リスク等を後工程へ引き継ぐ手法の検討				
契約図書の在り方			3D契約図書化に関する検討		
BIM/CIM積算	BIM/CIM設計に対応した積算 手法の検討	新土木工事積算システムの改良			
			将来的なBIM/CIM積算の検討		

これらの働き方を実現するための環境整備に関する実施項目、各プロセスの効率化のための実施項目

BIM/CIM検討項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降	検討状況
データ形式の標準化		土木IFC検定 (IFC) の実施			BSJ、OCFにて、検討中
	BIM/CIM基準要領への対応	↑			
		IFC 4.3に関する情報収集及び対応		↑	
		OCF検定 (J-LandXML) の実施			
教育、能力開発		発注者向け研修コンテンツの拡充			地整と共同で検討中
		BIM/CIM事例集の拡充			
				資格の活用	
監督検査の効率化		ICT施工による発注者の監督・検査プロセスの効率化			地整と共同で検討中
		ICT施工対象工種の順次拡大			
維持管理の効率化		3次元データの利活用による業務効率化に向けた検討			地整と共同で検討中
			維持管理に必要なデータの整理		
設計照査の効率化	BIM/CIMによる効率化が見込まれる照査項目の整理	(民間における設計プログラム等の開発状況を踏まえた対応)			
3Dモデリングの効率化		パラメトリックモデルの試行・標準化		ソフトウェアへの実装	
		(民間におけるソフトウェアの機能改良、オブジェクト供給の状況を踏まえた対応)			